

平成 28 年度

大学図書館職員長期研修

講義資料

国立大学法人筑波大学

## 平成 28 年度大学図書館職員長期研修講義資料 目次

平成 28 年度大学図書館職員長期研修実施要項	1
平成 28 年度大学図書館職員長期研修日程	2
平成 28 年度大学図書館職員長期研修科目概要	3
文部科学省講話	4

講義名(日程順に掲載)	講師
1 大学と大学図書館	植木俊哉 東北大学附属図書館長
2 大学経営の課題	吉武博通 筑波大学ビジネスサイエンス系教授
3 公立図書館の戦略	船見康之 潮来市立図書館長
4 私立大学図書館の経営	長谷川豊祐 慶應義塾大学非常勤講師
5 国立大学図書館の現状と課題	尾城孝一 東京大学附属図書館事務部長
6 古典資料の保存と利用	山澤学 筑波大学人文社会系准教授
7 経営学入門 I・II	佐野享子 筑波大学ビジネスサイエンス系准教授
8 大学評価と大学図書館	土屋 俊 大学改革支援・学位授与機構教授
9 図書館と法	村井麻衣子 筑波大学図書館情報メディア系准教授
10 利用者の情報行動	逸村 裕 筑波大学図書館情報メディア系教授
11 大学図書館に期待するもの	津崎良典 筑波大学人文社会系准教授
12 大学図書館職員の新たな役割	竹内比呂也 千葉大学附属図書館長及びアカデミック・リンク・センター長
13 国立情報学研究所の戦略	酒井清彦 国立情報学研究所学術基盤推進部次長
14 ディスカバリーサービスのデザイン	宇陀則彦 筑波大学図書館情報メディア系准教授
15 大学図書館の学習支援	長澤多代 三重大学准教授
16 学術情報コミュニケーションの動向	佐藤義則 東北学院大学文学部教授
17 ホテルにおけるホスピタリティ・マネジメント	村岡裕美 オークラフロンティアホテルつくば
18 対人ストレスマネジメントとしての ヒューマン・リレーションスキル	橋本佐由理 筑波大学体育系准教授

# 平成28年度大学図書館職員長期研修実施要項

## 1 目的

全国の国立大学図書館等の中堅職員に対し、学術情報に関する最新の知識を教授するとともに、図書館経営・情報サービスの在り方について再教育を行い、職員の資質とマネジメント・企画等の能力の向上を図ることにより、大学図書館等の情報提供サービス体制を充実させることを目的とする。

## 2 主催

筑波大学

## 3 期間及び会場

期間 平成28年7月4日（月）～7月15日（金）

会場 筑波大学春日エリア情報メディアユニオン2階 情報メディアホール等

## 4 受講者

### (1) 資格

受講者は原則として次の各号のすべてに該当するものとする。

1-1 係長クラスで年齢35歳以上45歳以下である者（平成28年4月1日現在）

1-2 大学図書館等において専門的業務に8年以上の経験を有する者

1-3 所属大学（機関）の長が推薦する常勤図書館職員

### (2) 定員

約35名

## 5 研修申込及び受講者の決定

### (1) 申込み方法

各大学（機関）の長は受講希望者についてとりまとめ、別紙様式により平成28年4月20日（水）（必着）までに、筑波大学長あてに推薦すること。

また、該当者がいない場合にも、その旨ご回答ください。

### (2) 受講者の決定

前項により推薦された者の中から応募・推薦理由等を考慮して受講者を決定し、各大学（機関）の長に通知する。

## 6 研修科目及び講師

別紙のとおり（予定）

## 7 研修の方法

1時限90分とし、講義・演習を行う。

なお必要に応じて事前アンケート、課題等の提出を課す。

## 8 経費

研修費は無料とする。国立大学法人並びに大学共同利用機関法人に所属する者の研修旅費（交通費、宿泊費）は、筑波大学が負担する。

## 9 宿泊施設

つくば市内のホテル（宿泊日：7月3日（日）～7月14日（木））

## 10 修了証書

この研修において所定の課程を修了した者には、修了証書を交付する。

平成 28 年度大学図書館職員長期研修日程

7 月	午 前			午 後	
	9:15～10:45		11:00～12:30	13:45～15:15	15:30～17:00
4 月	受付 9:30	10:00 オリエンテーション	11:30～ 開講式 文部科 学省講 話	大学と大学図書館 植木俊哉 東北大学附属図書館長	大学経営の課題 吉武博通 筑波大学教授
5 火	セッション 1:問題発見・解決力養成パート				
6 水	セッション 1:問題発見・解決力養成パート				
7 木	公立図書館の戦略 船見康之 潮来市立図書館長	私立大学図書館の経営 長谷川豊祐 慶應義塾大学非常勤講師	国立大学図書館の 現状と課題 尾城孝一 東京大学附属図書館事務部長	古典資料の保存と利用 山澤 学 筑波大学准教授	
8 金	経営学入門 I 佐野享子 筑波大学准教授	経営学入門 II 佐野享子 筑波大学准教授	セッション 2:マインドアップパート 「理想の図書館職員」ワークショップ		
9 土					
10 日					
11 月	大学評価と大学図書館 土屋 俊 大学改革支援・学位授与機構	図書館と法 村井麻衣子 筑波大学准教授	利用者の情報行動 逸村 裕 筑波大学教授	大学図書館に期待するもの 津崎良典 筑波大学准教授	
12 火	大学図書館職員の新たな役割 竹内比呂也 千葉大学附属図書館長及び アカデミック・リンク・センター長	国立情報学研究所の戦略 酒井 清彦 国立情報学研究所 学術基盤推進部次長	班別討議	班別討議	
13 水	ディスカバリーサービスの デザイン 宇陀則彦 筑波大学准教授	大学図書館の学習支援 長澤多代 三重大学准教授	班別討議	班別討議	
14 木	学術情報コミュニケーションの動向 佐藤義則 東北学院大学教授	ホテルにおける ホスピタリティ・マネジメント (企業の経営戦略) 村岡 裕美 オークラフロンティアホテルつくば	班別討議 発表	班別討議 発表	
15 金	筑波大学 中央図書館見学 9:15～10:15	対人ストレスマネジメントとしての ヒューマン・リレーションスキル 橋本佐由理 筑波大学准教授 10:30～12:00	12:00～ 閉講式		

会場：筑波大学春日エリア 情報メディアユニオン 2 階 メディアホールほか

7 月 15 日（金）は、第一エリア（中地区）筑波大学附属図書館（中央図書館）

## 平成 28 年度大学図書館職員長期研修科目概要

### 1 研修概要

#### A 図書館マネジメント総論 8科目 (9コマ)

大学図書館を取り巻く経営的環境を把握するとともに、大学図書館マネジメントに関する知識を養う。

#### B 学術情報流通等各論 10科目 (10コマ)

学術情報に関する最新の知識を講義し、大学図書館サービスのあり方を考える。

#### C 演習・ワークショップ・班別討議 16コマ

課題対応能力、コミュニケーション能力の向上を図るための講義・演習を行い、班別討議、発表を通してその実践を行う。

### 2 科目概要

#### A 図書館マネジメント総論

##### (1)大学経営の課題

大学図書館の活動は、あくまでも大学経営の一部として捉えられなければならない。大学図書館経営の背景となる大学経営について講義する。

##### (2)大学と大学図書館

大学や大学図書館を取り巻く現状や今後の方向性について、ステークホルダーとの関係や政策的視点から講義する。

##### (3)国立大学図書館の現状と課題

国立大学図書館の管理・運営を担う管理職の立場から、今日の大学図書館が抱えている重点課題を取り上げ、その解決に向けた取組みなどについて講義する。

##### (4)私立大学図書館の経営

私立大学図書館の経営について、アウトソーシング、予算獲得、サービスの展開等について事例をもとに実際の観点から講義する。

##### (5)大学評価と大学図書館

国・公・私立大学（短期大学を含む）は、7年以内ごとに、認証評価機関の実施する評価を受けることが義務付けられている。その評価の実際と大学図書館がどのように評価に寄与すればよいのかを考える。

##### (6)大学図書館職員の新たな役割

日本及び海外大学図書館における図書館職員の役割、その特徴や問題点、今後の新たな役割や将来像、展望などについて講義する。

##### (7)経営学入門 I・II

大学図書館サービスの質を高めるために、公共・非営利マーケティング及びサービス・マーケティングの基礎知識をいかに実際の事例に応用するか、受講者とともに検討することを通じて、大学図書館経営の在り方についての理解を深める。

#### (8)対人ストレスマネジメントとしてのヒューマン・リレーションスキル

中堅図書館職員は、図書館サービスの中心として利用者との対応でストレスに曝されるだけでなく、ミドルマネジメントの一翼を担う立場としてもストレスを感じることになる。人間関係を上手にコントロールするスキルを学ぶ。

### **B 学術情報流通等各論**

#### (1)国立情報学研究所の戦略

CAT/ILL 共同事業の設立時の理念を現代的に再確認し、近年特に顕在化してきた課題、新たな将来像や展開などについて講義する。

#### (2)利用者の情報行動

情報行動論の基礎的知識、教員や学生の情報行動の具体例、情報行動に配慮した図書館サービスのあり方などについて講義する。

#### (3)学術情報コミュニケーションの動向

近年の電子情報資源への急速な移行とコンソーシアムの形成や、オープンアクセスと機関リポジトリなどの動向を踏まえ、今後の学術情報コミュニケーションのあり方や展望について講義する。

#### (4)公立図書館の戦略

指定管理者制度などに見られる最近の公立図書館における経営の動向や戦略、また顧客獲得・顧客満足の観点から実施した新たなサービスについて例を挙げて講義する。

#### (5)古典資料の保存と利用

大学図書館における古典資料の保存方法や利用上必要な配慮などについて講義する。

#### (6)大学図書館に期待するもの

大学教員としての立場から、研究手法、研究資料の収集・活用方法、学生の指導方法等について述べると共に、大学教員が求める図書館、資料、図書館のあり方について講義する。

#### (7)大学図書館の学習支援

ラーニング・コモンズに代表される大学図書館における学習支援のあり方について、様々な活動と成果、今後のあり方や課題などについて講義する。

#### (8)企業の経営戦略

大学図書館運営に関連する民間企業等の経営戦略や図書館運営の効率化、サービス向上の参考となる民間企業等の経営手法について講義する。

#### (9)ディスカバリーサービスのデザイン

Web サイトの構成や構築、最近の Web サービス、検索エンジン、SNS 等の状況・問題を挙げ、Web サイトやディスカバリーサービスの設計に際して求められる「デザイン」と、情報通信技術の活用について、今後の方向性や展望等について講義する。

## (10)図書館と法

図書館をめぐる著作権、個人情報・プライバシー保護などの基本的な考え方や、インターネットの普及に伴う新たな動きと今後の方向性、展望などについて講義する。

## C 演習・ワークショップ・班別討議

### 1 演習

自立的に業務を遂行するためには、自ら問題を発見し、適切に解決する方法を身に付けることが重要である。職場での実際的な問題から、講義及び演習を通して、問題発見から解決までを実践する。

### 2 ワークショップ

受講生の間での意見交換などから、自身が図書館職員としていきいきと働く理想像を描き出すことで、2週目の研修をより実りあるものとする。

### 3 班別討議

#### (1) 班別討議

大学図書館経営及びマネジメントに関連するテーマについて討議する。実際的な課題解決を念頭において具体的な対応策、解決策を討議する。

#### (2) 発表及び全体討議

班別討議で検討した課題を実際的な解決方策にまとめ発表する。各班の発表をもとに全体討議を行う。